

最後にこの本のタイトルにもある「挑戦」。自分の欠点を見つけることが出来た僕は、欠点の克服に向けて練習をしていきました。とても時間がかかり、きつかったです。ですが、それを克服したとき、とても楽しく部活ができました。と同時に、皆と一緒に部活ができることの楽しさを初めて感じました。

僕は、この本に出会わなかったら、ずっと挫折をしたまま成長できなかったと思います。この本によって僕は考え方を変え、そして僕の生活自体を変えることができました。この本が教えてくれた「挑戦」は自分を変えるために、一番大切だと思います。なぜなら、「挑戦」すること諦めてしまうとそれ以上頑張ることができなくなるからです。僕はこれからも「挑戦」をし続けていこうと思います。それから、中竹さんが教えてくれた「鳥の眼」という言葉と考え方を今後の人生に生かしていきたいと思っています。

(読んだ本『挫折と挑戦』)